様式 13-2

引継ぎシート(小学校→中学校・特別支援学校中学部)

保護者保管用
取扱注意

新たに子どもを迎える先生に、子どもに関わる指導や支援のポイントを伝え、新しい生活が円滑にスタートできるようにするとともに、入学及び進級、終了に関しての不安を解消するためのシートです。保護者の承諾を得て、担任が作成します。管理を徹底し、個人情報の保護に努めます。

幼児 児童生徒名	(ふりがな)	月　　日	性別： 男・女

課題となっていることを解消するために必要な支援内容と教室環境等の整備について記入します。

現在の学校生活を送る際の課題となっていることを記入します。

園、学校生活を送る際に向けて取り組んだ内容と成果（成果は◎、○、△の３段階で記入）

生活面

課題	必要な配慮（環境調整）	成果	現状
・身なりを自分で整えようとすることができるが、外の気温に合わせて吹くの調整をすることは難しい。	・気温が高い時は、上着を脱ぐことを伝え、服の状態については、絵カードを提示し分かりやすく示している。 ・気温に合わせて上着を脱げた時は、賞賛している。	○	・気温を判断して上着を脱ぐことは難しいが、絵カードを手がかりに自分からカードを見てできるようになってきている。

行動・性格・感情・感覚

課題	必要な配慮（環境調整）	成果	現状
・具体的に何をしてよいか分からないことを指示されると、動きが止まってしまう。	・指示は分かりやすく示し、必要に応じて絵カード等、視覚的な情報を与えている。	○	・指示が理解できた時は、動きが止まることなく、自分から行動することができている。

学習

課題	必要な配慮（環境調整）	成果	現状
・漢字が苦手である。	・補助プリントを用意し、漢字の意味をいらすとで理解できるようにする。また、書き取り練習では、枠の大きなノートを用意し、なぞりの練習から入って	○ ◎	・学習した漢字の読みについては、ほぼできるようになってきている。書き取りは、繰り返し練習を重ねることで、書くことができる漢字が増えてきている

必要な配慮(環境調整)を行うことで、どのような改善が見られたかや得意なことも記入します。

場面やルールの理解

課題	必要な配慮（環境調整）	成果	現状
・感情的になり、行動で気持ちを表してしまうときがある。	・個別の学習の中で、気持ちが不安定になった際に落ち着くことができる方法を一緒に考え、実行する練習に取り組んでいる。	○	・少しずつではあるが、気持ちが不安定になった際に自分で落ち着かせる場面が見られるようになってきている。

友達や教師との関わり、コミュニケーション

課題	必要な配慮（環境調整）	成果	現状
・友だちと関わる際に、自分の思いを一方的に伝えようとする場面が多く見られる。	・個別の場面でコミュニケーションについての指導を行っている。特に会話のやり取りの場面で、一方的に自分の気持ちだけを伝えるのではなく、相手の気持ちも尋ねるようにするルールを確認するようにしている。	○	・会話のルールは理解してきているが、まだ実際の場面で上手に活用できるまで至っていないため、ロールプレイ等も交えながら、実際の場面で活用できるよう取り組んでいる。

入学当初(入学式や初めての学級)において、想定される行動を記入し、そのために「必要な支援」を右側の欄に記入します。

入学当初において

想定される行動	必要な支援（本人および環境）
・場面の流れが分からないと気持ちが不安になり、暴言を言ったり、奇声ををあげてしまうことが見られます。	・事前に活動の流れや活動の内容を伝え、見通しを持てるようにする。 ・気持ちが不安定になったときは、教師に伝えるように教える。

その他 アレルギーなど	・鉄道が好きである。　　・朝夕に服薬している。		
保護者の願い	・気持ちが不安定にならずに活動に参加できるようになってほしい。	進路の希望	☑中学校（通常の学級）□特別支援学校 □中学校（特別支援学級）　□未定 □その他［　　］

必要に応じて、現在の服薬の状況等を記載します。詳細は口頭で情報提供します。

対象幼児児童の詳細な理解については、個別の支援計画「すくらむ」の様式８、様式９を参照